



# 谷戸沢のカヤネズミ

谷戸沢処分場に広がる草丈の高いススキなどを「茅(カヤ)」と呼んでいます。この茅のある場所に住んでいることから、「カヤネズミ」と名付けられています。



秋のススキ草地

## ススキ草地の忍者、カヤネズミ！

カヤネズミは、ススキが生い茂る草の中を動き回ることができます。

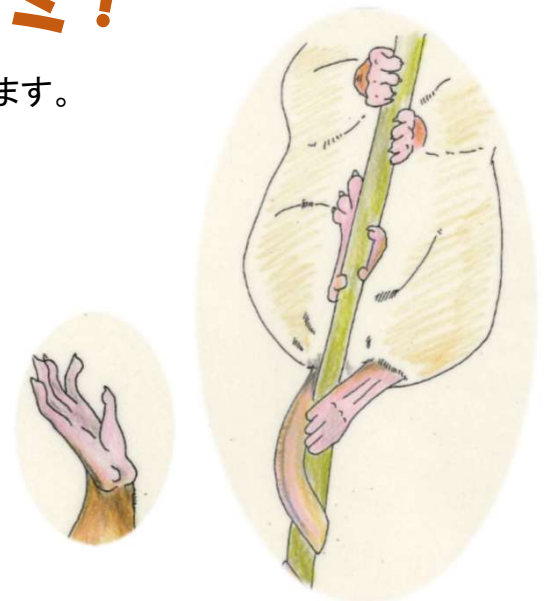
その秘密は…

**体重** 大人でも7グラム程しかない、日本で最小のネズミです。

**しっぽ** 滑り止めのついたしっぽを葉っぱや茎に巻き付けて、命綱のように使いバランスを取ります。

**指** 足の指は、特殊な形をしていて、細い茎もつかむことができます。

ススキの葉っぱや茎の上をスルスルと歩いたり、登ったりできるのは、このような特徴があるからです。



カヤネズミの足 と しっぽ

## ススキ草地の匠！

カヤネズミは、ススキの葉っぱを細く裂き、丁寧に編み込んで丸い巣をつくります。

これを「球巣(きゅうそう)」と呼び、子育てや休憩のために使われます。

ススキ草地にぽっかりと浮かぶ球巣は、谷戸沢の秋の風物詩の一つになっています。



カヤネズミの球巣